



第21回西三河少年剣道大会で西端剣道クラブチームが堂々の3位 愛知県春季少年剣道大会に出場決定

県大会の予選を兼ねた第21回西三河少年剣道大会が2月19日(日)、安城市体育館で行われ、西端剣道クラブチームが堂々の3位。3月21日の第37回愛知県春季少年剣道大会への出場権を獲得しました。

予選リーグで西端剣道クラブは鶴城小学校、高棚剣友会に勝ち決勝トーナメントに進出。

決勝トーナメント第一試合は米津小学校に2-1で勝ち、第二試合の双葉に3-1で勝利。準々決勝で西尾中央剣道スポーツ少年団に1-1の本数勝ち。しかし、準決勝では西尾市の双龍館に1-1からの代表戦で惜敗。とはいえ、堂々の第3位で県大会への出場を決めました。

西端剣道クラブチームは、来る3月21日(祝)の第37回愛知県春季少年剣道大会(中村スポーツセンター)に出場します。皆様の熱い声援をお願いいたします。



西端剣道クラブチーム(写真向かって左から)
大将:小林明史、次鋒:清水雄揮、先鋒:中川裕太、
中堅:伴 百華、副将:白井里奈

◇今回は練習後の選手の皆さんにインタビューさせていただきました。(伴さんは残念ながら不在でしたが、コメントをいただきました。)

○では早速ですが、今回の西三大会で勝てた要因は？

中川：チームみんなでがんばったからよかったと思います。

清水：小林君が強かったと思います。

白井：なんだろうね。みんなが引き分けに押さえてくれたからだと思います。

小林：練習のおかげだとおもいます。

("お〜っ、カッコいいねえ" の声)

○印象に残った試合を教えてください。

中川：一番最後の試合。双龍館とやった試合です。勝てそうで勝てなかったけど、それが一番いい試合だったと思う。

清水：最後の試合で相手が強かった。

(注：相手に吹っ飛ばされながらも、最後は引き分けにしたそうです。)

白井：準々決勝で私が負けた時に、小林君が劇的な勝利をしたのがすごかったと思います。

小林：双龍館から2本とったことです。

(一同から、"すばらし〜い" の声)

○最後に県大会に向けての抱負をお願いします。

中川：まっすぐに自分の剣道をやって、またチームみんなで力を合わせてがんばって、ベスト16以上に入りたいです。

("ベスト16以上って結構あるよねえ(笑)" の声)

清水：試合で何回も勝ちたいです。

白井：大阪の大会に行きたいです。(笑)

小林：優勝したい。

(口々に"優勝したい" の声)

伴：今回の大会で頑張ったことは、自分から攻めることです。いつも先生方が言われるように、自分から攻めると相手が打ちにくくなるのが分かりました。県大会では、自分から攻めて大きな声を出す悔いの残らないような試合をしたいです。一試合一試合、緊張感をもって頑張ります。

◇監督の鳥居勝先生から一言

選手ひとりひとりが実力を十分に発揮できたことが勝因だと思います。普段の練習に真剣に取り組んできた結果、自然に力がついてきたということでしょう。県大会でもこの調子で活躍してほしいと思います。